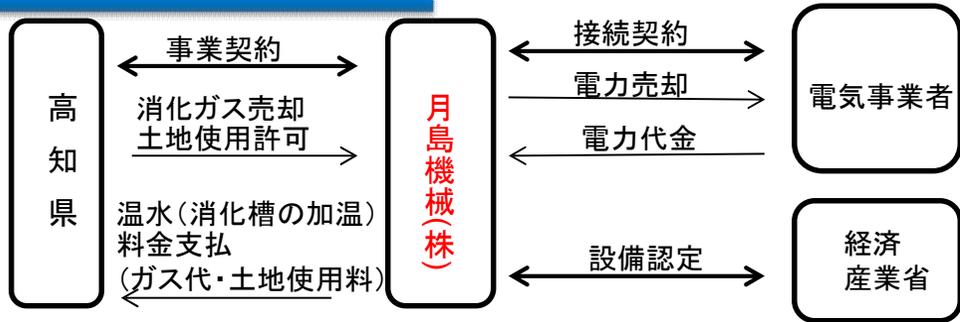


高須浄化センターの消化ガス発電事業

①事業導入の背景

- ・高須浄化センターでは、3市(高知市・南国市・香美市)の約20万人の下水を処理しています。
- ・現在、水処理で発生する汚泥は、全量(焼却炉による一部焼却を除く)を、コンポスト会社やセメント会社などの民間業者へ処理委託しています。
- ・汚泥の安定的な処理や維持管理費の削減のため、**消化による汚泥の減量化**を図ります。
- ・消化の際に発生する**消化ガス**を利用し、民間事業者が、**再生可能エネルギー**による**固定価格買取制度(FIT)**で**発電事業**を行います。

②消化ガス発電の仕組み



③事業の効果

①下水汚泥の減量化



・消化により約1/3の汚泥を削減

→ **維持管理費の削減**

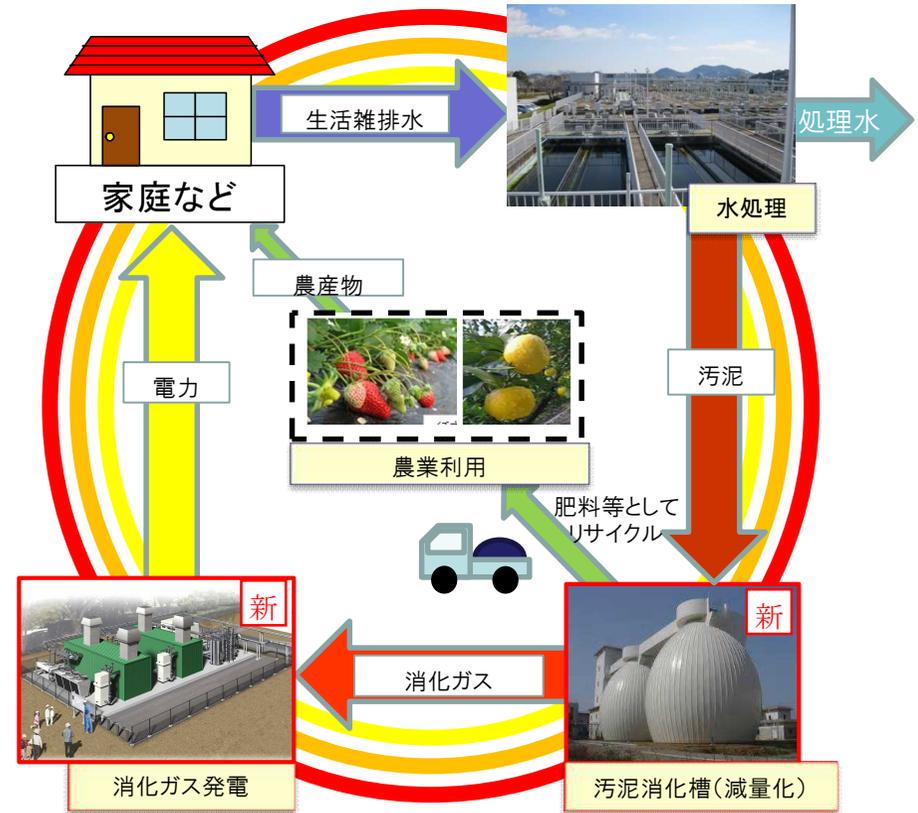
②消化ガスの有効利用



・消化により発生するガスを**民間発電事業者**に売却

→ **ガス売却による収益**

新しい下水汚泥処理のイメージ



④今後のスケジュール(予定)

消化施設建設(県):平成29年度~平成31年度

発電施設建設(事業者):平成32年4月~平成32年9月

発電開始:平成32年10月~